



整理番号	HT28220	分野	自然・生物	キーワード:水生植物、琵琶湖、金属
------	---------	----	-------	-------------------

滋賀県立大学

琵琶湖の水生植物の隠された能力をしらべよう

先生(代表者)	原田英美子(はらだえみこ)環境科学部・准教授			
自己紹介	野外と実験室を行ったり来たりしながら、重金属を集積する性質を持つ植物を研究しています。琵琶湖でよく見かける水生植物の力についてお伝えできればと思っています。			
開催日時・主な募集対象	平成 28 年 7 月 24 日(日)	(対象)	中学生・高校生	(人数) 20 名
集合場所・時間	滋賀県立大学環境科学部棟生物学実験室		(集合時間)	9:30
開催会場	滋賀県立大学環境科学部 住所: 〒522-8322 滋賀県彦根市八坂町 2500 アクセスマップ: http://www.usp.ac.jp/campus/acs_map/			
内 容				
<p>外来性の水生植物は、生態系に影響を与えるとして一般には厄介者扱いされています。私たちの研究室では、そのような植物を有効利用する方法を検討しています。特に、重金属を集積する性質を持つ植物は、役に立つ金属資源を環境中から効率的に集めるのに利用できると考えられます。この企画では、オオカナダモ(図1)などの水生植物を琵琶湖水圏から採集して、葉の付き方などから植物を見分け、植物に含まれている金属の分析を行います。フィールドワークを実施する下石寺集落(彦根市石寺町)は、滋賀県立大学の南約4kmに位置する琵琶湖沿いの環濠集落です。大学のオープンキャンパス[7月23日(土)、24日(日)、http://www.usp.ac.jp/nyushi/open/]のプログラムも一部体験していただけます。</p>				
				
			<p>図1 琵琶湖水圏で採集したオオカナダモ</p>	
スケジュール			持 ち 物	
9:30-10:00	受付(環境科学部棟2階生物学実験室集合)		もし白衣を持っていたら持参してください。	
10:00-10:30	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)		特 記 事 項	
10:30-11:30	講義と実験:琵琶湖の水生植物とその見分け方			
11:30-12:30	昼食		野外調査および実験室での作業を含むので、汚れてもよい服装で参加、もしくは着替えを準備してくるのが望ましい。フィールドワークで胴付き長靴を使用する際には、靴下の着用を必須とする(ストッキングは不可)。	
12:30-13:00	バスで下石寺集落へ移動			
13:00-14:00	フィールドワーク:環濠の水生植物の採集と環境調査			
14:00-14:30	バスで大学へ戻る			
14:30-15:30	クッキータイム(軽食、お茶)と学内施設の見学			
15:30-16:30	講義と実験:植物に含まれる金属の検出			
16:30-17:00	アンケート記入、未来博士号の授与			
17:00	終了、解散			

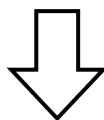
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	滋賀県立大学環境科学部・原田英美子
住所：	滋賀県彦根市八坂町 2500
TEL 番号：	0749-28-8322
FAX 番号：	0749-28-8475
E-mail：	harada.e@ses.usp.ac.jp
申込締切日：	平成 28 年 7 月 8 日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
原田英美子	H27-29	基盤研究C	15K00595	水生植物の元素集積に影響する環境要因の解明および水圏からの金属回収法の開発
原田英美子	H24-26	基盤研究C	24510103	水生植物における重金属の吸収機構と体内挙動の解明および水圏環境浄化への応用



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。